

SENA報告

令和元年10月30日



SENA

三遠南信地域連携ビジョン推進会議

I 第2次三遠南信地域連携ビジョン

ビジョンの体系図

基本方針	推進方針
1 道 中部圏の中核的都市圏となる地域基盤の形成	I 人と物の交流促進 ● 交流を促進する道路交通網の整備・活用 ● 交流を促進する鉄道交通網の整備・活用 II 情報の交流促進 ● 情報通信技術の高度化に伴う基盤の整備 ● 県境を越えた情報共有の推進
2 技 革新を取り込む産業創造圏の形成	I 既存産業の活力増進 ● 人材・労働力の育成・確保 ● 広域的な産業連携の促進 ● 流域自然資源の広域的な有効利用 II 産業創造力の強化 ● 企業誘致と特徴ある産業クラスターの形成 ● 技術革新に対応した新産業の創出 ● ソーシャルビジネスの育成と起業支援
3 風土 流域文化創造圏の形成	I 多様な地域資源を活かした広域観光の推進 ● 広域観光プロモーションの推進 ● 広域観光を推進するネットワークづくり II 地域固有の文化財や自然環境の保存と継承 ● 文化財の保存・活用 ● 環境保全活動の推進 ● 流域文化の普及と人材の育成・確保
4 住 安全安心な広域生活圏の形成	I 地域住民の安全安心の確保 ● 広域的な医療や福祉の連携 ● 広域的な健康づくり事業の推進 ● 広域防災体制の充実 II 定住推進モデルの形成 ● 移住・定住事業の広域連携の推進 ● 未利用施設などの広域的な有効利用
5 人 地域の持続的発展に向けた人材集積地の形成	I 次世代を担う人材の育成・確保 ● 地域を担う人材の育成 ● 持続的発展を支える人材の確保 ● 人材交流の促進 II だれもが輝く地域づくり ● 多文化共生の基盤づくり ● 女性や高齢者の社会参画の促進

1 三遠南信交通ネットワーク形成プロジェクト

- (1) 交通ネットワークの主軸となる主要道路の整備促進や効果的な利用方法の検討
- (2) リニア中央新幹線と既存交通網との効果的な接続の推進
- (3) 三遠地域を牽引する道路網の整備の促進
- (4) 三河港・御前崎港の整備・利用促進
- (5) リニア中央新幹線開業後の東海道新幹線の利用促進

2 三遠南信国民の一体感醸成プロジェクト

- (1) メディアや広報紙、SNSを活用した地域内情報の発信・共有
- (2) 三遠南信スポーツ交流事業の実施
- (3) 地域に関する歴史や文化の共有・発信

3 地域の稼ぐ力強化プロジェクト

- (1) 食農産業クラスターの形成や農林水産物の販路拡大
- (2) 新技術の利活用や新産業の創出・集積
- (3) 軽トラビジネスなど地域の特性を活かしたソーシャルビジネスの促進
- (4) 産業連携の促進

4 三遠南信探訪プロジェクト

- (1) 道の駅、サービスエリア・パーキングエリア（SA・PA）を活用した地域の観光情報の発信
- (2) 地域内の食文化を用いた観光振興
- (3) 自然資源や文化遺産を活用した観光客誘致
- (4) 鉄道を活用した観光振興
- (5) サイクルツーリズムの推進

5 中山間地域が輝くプロジェクト

- (1) 県境地域での観光振興や交流連携事業の推進
- (2) 地域おこし協力隊等のネットワーク化支援
- (3) 中山間地域の移動手段確保
- (4) 中山間地域の森林の保全や森林資源の活用の促進

6 住むなら三遠南信プロジェクト

- (1) 市町村を越えた防災連携体制の維持・強化
- (2) 地域連携による婚活事業や移住・定住支援事業の実施
- (3) 女性や高齢者が暮らしやすく、働きやすい地域づくりの推進
- (4) 県境を越えた住民交流機会の創出

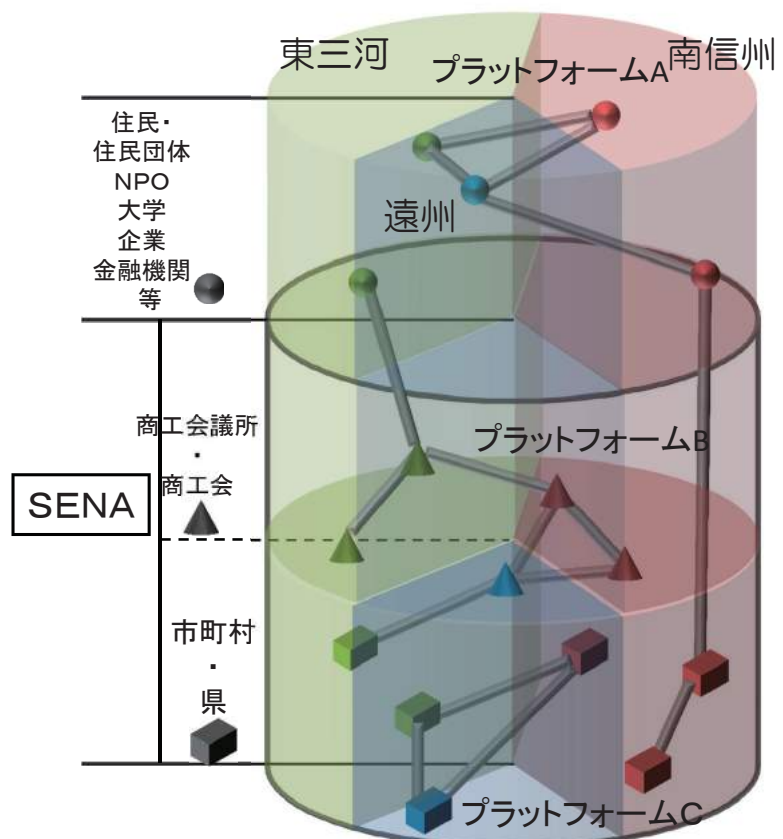
7 人生100年時代プロジェクト

- (1) 児童・生徒・学生、社会人の交流機会の創出・拡大
- (2) 三遠南信に関する地域教育の促進
- (3) 人材の育成・定着化の推進

プラットフォーム

共通した課題を持つ複数の主体が、理念やビジョンを共有し、新たな価値の創出や課題解決のために、対話や合意形成を経て連携する枠組み

この枠組みを通じて主体間の情報共有や課題の整理・研究、事業の立案や実施などの活動を行う。



プラットフォームによる取組事例

○ 三遠南信連携農産物輸出事業

実施主体	豊橋市・田原市・浜松市・飯田市
基本・推進方針	「技」・Ⅰ 既存産業の活力増進
プロジェクト	3 地域の稼ぐ力強化プロジェクト (1) 食農産業クラスターの形成や農林水産物の販路拡大
取組概要	・マレーシアの現地小売店でのプロモーション (10日間×2回 / 年) ・マレーシアからのバイヤー招聘 農産物の生産現場視察等を通じ、当地域農産物への理解成熟を図りながら商談会を実施(1回 / 年)



プラットフォームによる取組事例

○ 三遠南信地域災害時相互応援協定

実施主体	SENA構成市町村
基本・推進方針	「住」・Ⅰ 地域住民の安全安心の確保
プロジェクト	6 住むなら三遠南信プロジェクト (1) 市町村を越えた防災連携体制の維持・強化
取組概要	・協定の内容 災害時の救出・救護・応急や職員派遣、資機材・物資の供給 ・平成22年7月16日、飯田市からの給水車派遣要請があり、応援協定に基づき遠州、東三河から給水車を派遣 ・今年度、未締結の市町村すべてが協定締結に同意 →令和元年度中に、協定締結予定



プラットフォームによる取組事例

○浜松市消防ヘリコプターによる航空消防応援協定

実施主体	浜松市消防局、7消防本部
基本・推進方針	「住」・Ⅰ 地域住民の安全安心の確保
プロジェクト	6 住むなら三遠南信プロジェクト (1) 市町村を越えた防災連携体制の維持・強化
取組概要	・三遠南信地域において浜松市消防ヘリコプターを必要とする災害が発生した際に、浜松市消防ヘリコプターを活用して浜松市が応援 ・平成23年3月豊丘村で発生した林野火災において消火活動を実施 ・未締結であった上伊那広域連合と平成30年7月協定を締結、東三河、南信州全域が対象となる
関係団体等	遠州地域を除く30市町村（遠州地域は静岡県内のヘリで対応）



プラットフォームによる取組事例

○三遠南信地域新技術・新工法展示商談会

実施主体	浜松商工会議所
基本・推進方針	「技」・Ⅰ 既存産業の活力増進
プロジェクト	3 地域の稼ぐ力強化プロジェクト (4) 産業連携の促進
取組概要	・三遠南信地域の企業が持つ新技術や新工法を提案・アピールし、異分野メーカーとの取引先開拓、技術的連携等へ繋げるきっかけを作るため、大手メーカー社内にて具体的な取引や協力関係の構築を目指した展示商談会を開催 - 平成26年 株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター - 平成28年 トヨタ自動車株式会社 - 平成29年 コマツ小山工場 - 平成30年 株式会社IHI - 令和元年 ナブテスコ株式会社
関係団体等	(公財)浜松地域イノベーション推進機構、豊橋商工会議所、 (公財)南信州・飯田産業センター

プラットフォームによる取組事例

○三遠南信中学生交流事業

実施主体	豊橋市教育委員会、浜松市教育委員会、飯田市教育委員会
基本・推進方針	「人」・Ⅰ 次世代を担う人材の育成・確保
プロジェクト	7 人生100年時代プロジェクト (1) 児童・生徒・学生、社会人の交流機会の創出・拡大
取組概要	・平成11年度から実施 ・教育交流を通して、自分のまちや学校の良さを見直す機会を提供すると共に、子どもたちのまちづくりに対する意識を深め、地域間連携の中核となって活躍する人材を育成するため、3市の中学生の交流会を開催



プラットフォームによる取組事例

○三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会

実施主体	三遠南信ふるさと歌舞伎交流実行委員会
基本・推進方針	「風土」・Ⅱ 地域固有の文化財や自然環境の保存と継承
プロジェクト	2 三遠南信圏民の一体感醸成プロジェクト (3) 地域に関する歴史や文化の共有・発信
取組概要	・民俗文化財に対する関心を高め保存継承の意識高揚を図るとともに、保存会間の交流を深め、相互協力や情報交換を通じ技術向上と保存会組織の運営強化を図る ・三遠南信地域における民俗芸能の代表格である地芝居(素人歌舞伎)の保存会が一堂に会し上演 ・3地域のそれぞれの保存会が、平成6年から持ち回りで毎年開催
関係団体等	大鹿歌舞伎保存会、下條歌舞伎保存会、豊橋素人歌舞伎保存会、田峰観世音奉納歌舞伎谷高座、湖西歌舞伎保存会、浦川歌舞伎保存会、雄踏歌舞伎保存会「万人講」



プラットフォームによる取組事例

○軽トラビジネス推進事業

実施主体	三遠南信軽トラ市ネットワーク
基本・推進方針	「技」・Ⅱ 産業創造力の強化
プロジェクト	3 地域の稼ぐ力強化プロジェクト (3) 軽トラビジネスなど地域の特長を活かしたソーシャルビジネスの促進
取組概要	・三遠南信地域内で開催されている軽トラ市のネットワーク化を目指し、平成30年に発足 ・軽トラ市の開催に関する意見交換、軽トラ市の開催状況に関する全国調査、三遠南信軽トラ市MAPの作成 ・11月4日東京モーターショーでの軽トラ市に出店予定 ・12月7・8日掛川市で開催される「全国軽トラ市」に出店予定
関係団体等	愛知大学三遠南信地域連携研究センター しんしろ軽トラ市のんほいルロット みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市(磐田商工会議所) 掛川けっトラ市(掛川市中心市街地活性化推進室) SENA ※同ネットワーク構成団体



プラットフォームによる取組事例

○三遠南信地域連携マラソン大会スタンプラリー(新)

実施主体	愛知県東三河総局、愛知県新城設楽振興事務所、長野県南信州地域振興局、静岡県西部地域局
基本・推進方針	「風土」・Ⅰ 多様な地域資源を活かした広域観光の推進
プロジェクト	2 三遠南信圏民の一体感醸成プロジェクト (2) 三遠南信スポーツ交流事業の実施
取組概要	・広域連携の展開に向けて、共通課題となるテーマについて意見交換を行う「三県域所長情報交換会」を通じた取組 ・人口交流の一層の拡大を図ることを目的とし、県境を越えた観光交流事業の一環として開催 ・3か所以上の三遠南信地域の対象マラソン大会(16大会)に参加(出走、ボランティア、応援)した方から抽選で三遠南信地域の特産品をプレゼント
関係団体等	愛知県、長野県、静岡県



Ⅱ 第27回三遠南信サミット2019 in 南信州

今日のサミットについて

新たなビジョンの始動 ～将来に向けて今すべきこと

13:00～15:00 全体会	会場 ◆ 飯田市県文化センター ホール パネルディスカッション 司会／西村容子 テーマ ◆ 三遠南信地域とスーパー・メガリージョン構想 コーディネーター ◆ 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 副会長（飯田市長）／牧野光朗 パネリスト ◆ 国土審議会会長・公益財団法人名古屋まちづくり公社上席顧問・名古屋都市センター長／奥野信宏 ◆ 公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー 理事・事業本部長／前田 忍 ◆ 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 会長（浜松市長）／鈴木康友 ◆ 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 副会長（豊橋商工会議所会頭）／神野吾郎 〔敬称略・順不同〕
15:15～17:35 「住」(防災)を 主題とした 連携検討会	プロジェクションマッピング等を利用した情報共有 今後30年間に発生する確率が70～80%とされている南海トラフ地震の発生による三遠南信地域の被害想定等について、名古屋大学減災連携研究センター長 福和伸夫教授の解説により、巨大地図とプロジェクションマッピングを使用して情報共有を行う。 各校討グループにおいて議論 「道」グループ 会場 ◆ 飯田市県体育館アリーナ テーマ ◆ 「道路などの社会基盤への被害とその備え」に向けて コーディネーター ◆ 国立大学法人 名古屋大学 「住」グループ 会場 ◆ 飯田市県体育館アリーナ テーマ ◆ 「地域住民の安全安心の確保」に向けて コーディネーター ◆ 国立大学法人 名古屋大学 「技」グループ 会場 ◆ 飯田市県文化センター 3階 学習展示室 テーマ ◆ 「災害時における産業活動の継続及び地域連携」に向けて コーディネーター ◆ 学校法人 愛知大学 教授／戸田敏行 「風土・人」グループ 会場 ◆ 飯田市県体育館 3階 卓球室 テーマ ◆ 「災害に強い地域づくり、地域活動」に向けて コーディネーター ◆ 学校法人 法政大学 教授／高柳俊男
18:00～18:30 報告会	会場 ◆ 飯田市県文化センター ホール 各校討グループの報告、サミット宣言
19:15～20:30 交流会	会場 ◆ シルクホテル 2階 錦織 参加費 6,000円／人